

小森耳鼻咽喉科医院だより

VOL.21



統計上の平均値はこのように出ていますが、それぞれ個人によって、この長さは変わってきます。皆様が、この平均値を上回って21世紀を健康に楽しく過ごされることをお祈りいたします。

	男子	女子
0 歳	77.16年	84.01年
10 歳	67.64年	74.45年
20 歳	57.85年	64.56年
30 歳	48.22年	54.75年
40 歳	38.66年	45.01年
50 歳	29.46年	35.51年
60 歳	20.99年	26.37年
70 歳	13.62年	17.75年
80 歳	7.68年	10.27年
90 歳	3.86年	5.15年
100 歳	1.94年	2.65年

皆様方が21世紀へ向けて、あと何年くらい生きるのか(平均余命)、最近の統計から調べてみました。10歳ごとに男子、女子の順に掲載します。



ご挨拶

院長 小森 貴

いよいよ2000年の正月を迎えましたが、皆様方はどのように今年の正月を過ごされましたでしょうか。今年は20世紀の最後の年で、来年は21世紀の到来ということになります。今年を健康に乗り切って次世紀を迎えたいものだと思います。

周囲に音源がないのに、耳の中で「キーン」とか「ジーン」といった音が聞こえる現象を耳鳴りといいます。同じように耳の中に人の話し声などが聞こえる場合は耳鳴りとは言わず、幻聴といいます。

耳鳴りの原因は、耳に異常があり、難聴が起こって耳鳴りがするという場合がほとんどです。難聴の種類としては、メニエール病、頭部外傷後の難聴、薬剤性難聴、騒音性難聴、老人性難聴、聴神経腫瘍による難聴、中耳炎後遺症の伝音性難聴などがあげられます。

以上あげたような難聴の人では、60%以上の人が耳鳴りを訴えます。

耳鳴りは突然生じて、ごく短時間鳴っただけで、やがて消えてしまう場合が少なくありません。しかし耳鳴りが自覚してから48時間鳴り続くとか、次第に大きくなることもあります。そのような場合には、精密に検査をしなければなりません。その場合に前述した難聴などの病気が見つかる場合があります。

耳鳴りの治療は、先にあげたような原因となる難聴が見つかった場合には、耳鳴りの治療とともに、難聴の治療も並行して行わなければなりません。

耳鳴り特有の治療としては、最近では耳鳴りマスカーという器具を用いる治療がよく行われます。

●耳鳴りになりやすい難聴

- ・メニエール病
- ・頭部外傷後の難聴
- ・薬剤性難聴
- ・騒音性難聴
- ・老人性難聴
- ・聴神経腫瘍による難聴
- ・中耳炎後遺症の伝音性難聴など

以上の難聴の人では、60%以上の人が耳鳴りを訴える

雑音を出す器具でさえぎる（マスキング）方法です。患者の耳鳴りに似た周波数で、耳鳴りを完全に消すことができる高さの雑音をしばらく聞かせる、その間は耳鳴りから解放されるうえ、雑音を中止した後も、一定の時間は耳鳴りが聞こえなくなる現象を利用していきます。

この耳鳴りマスカーによる治療は、多くの耳鳴り治療の中のひとつの方法です。治療には数多くの方法があり、それだけ難しいということであり、また決定的な治療法もないということができません。その中でもやはり、主力の治療法は薬物療法ということになります。耳鼻咽喉科で適切な薬物療法を行うことが大事です。

耳鳴りには決定的な治療法がないだけに、生活環境を調整して耳鳴り対策をすることも大事です。

＜スタッフ紹介＞



出雲 ます美
(栄養士)

明けましておめでとうございます。

スキー、映画、料理が好きです。スキーシーズン到来で、すごくワクワクしています。今年は、いろんなスキー場で滑ってみたいです。

何事にもチャレンジ精神を忘れず、仕事やプライベートで充実した年になるよう頑張りたいと思います。



- 診察科目 耳鼻咽喉科、気管食道科 手術および入院施設有り
- 診療時間
月 曜/AM8:30~12:00 PM1:30~5:00
火曜~金曜/AM8:30~12:00 PM1:30~5:30
土 曜/AM8:30~12:00 PM1:30~3:00
日・祝祭日・木曜日午後休診

金沢市橋場町3番9号 TEL.076 (221) 5027

小森耳鼻咽喉科医院

